

令和7年度 誠英高等学校 学校評価書【全日制課程】

令和8年03月31日

1. 学校教育目標								
校 訓		至誠一貫 規律厳守 協同一致						
スクール・ミッション		「至誠一貫」に則り、生徒が誠実な心を養い、自らの目標を設定し、実現できる力、主体的な精神を育成する。						
スクール・ポリシー	グラジュエーション・ポリシー		社会で生き抜く力の養成 /生徒一人ひとりの個性に合った教育 /誠の心を備えた人間力の育成					
	カリキュラム・ポリシー		主体的・対話的で深い学び ・ICTを用いた教育 ・グローバル・グローバル人材の育成					
	アドミッションポリシー		自らの目標を設定し、実現する意欲を持つ人、または自らの目標を探したい人 ・進学・就職どちらも視野に入れ、自分の能力を最大限活かした進路を望む人 ・学校生活を通して誠の精神・人間力を磨くことを望む人					
2. 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)								
学校経営 ・建学の精神を基に、学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを全教職員の適切な役割分担と連携に基づき、学校評価と関連付け行っていく。 ・家庭・地域社会との連携と協働を深めるとともに、学校間連携等により教育活動の活性化を図っていく。 教育活動 ・創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進するとともに、アクティブラーニングの視点に立った授業改善を効果的・積極的に推し進めていく。 ・教育課題を明確化し、組織的かつ計画的に教育活動の質を高めていく。 ・教科等の目標や内容を見直し、社会が求める能力や資質の育成に向け、教科等横断的な学習の一層の充実を図る。そして、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的な対応ができる能力を育む。 ・多様な教育活動を通して生徒一人ひとりが確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を養い、生きる力・人間力を育む教育活動を推進するとともに、教育活動全体を通じて個々の生徒の特性等の的確な把握に努め、その伸長を図っていく。 運営組織 ・校務分掌の見直しや平準化を図るとともに、組織的で効率的な校務運営に努める。 教育環境 ・ICT化・情報化等に対応できる良質で質の高い教育環境の継続的な整備が必要。 ・人・モノなど教育環境整備に努めるとともに、学校施設の老朽化対策を計画的に行っていく。 開かれた学校づくり ・安心・安全で保護者や地域に開かれた学校づくりを粘り強く推進する。 生徒の教育効果 ・全職員がチームとして、それぞれの専門性を生かし連携・協働することで、最大限の教育効果を生み出していく。								
3. 本年度重点を置いて目指す成果・特色・取り組むべき課題（努力すべき目標）								
1 学習指導	基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価。 授業展開の工夫と他教科との連携の構築。ICT環境整備に基づく、オンライン授業等の展開と充実。							
2 生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識・ルール・マナーの向上。 いじめや偏見に対する適切な対応と教職員間の共通理解の徹底。							
3 進路指導	進路指導の早期取り組みと個の希望に応じた適切な指導。 キャリア教育の充実。							
4 特別活動	部活動の活性化と地域ボランティア活動・奉仕活動の推進。 生徒主体の活動推進と協力体制の構築。							
5 業務改善	広報・生徒募集活動の充実と働き方改革の促進。 ITC環境整備に基づく業務の簡素化及び合理化、状況変化への対応。							
4. 自己評価					5. 学校関係者評価			
評価領域	重点目標	具体的方策(実践活動)	評価基準	達成度	達成状況の診断・分析		学校関係者からの意見等	評価
学 習 指 導	基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価	学科・コース・専攻等の特性に応じた学習指導の展開	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1 (3.1)	○昨年度に引き続き、概ね目標達成できた。 ○各学科・コース等の特性を踏まえつつ、主体的・対話的で深い学びを目指した取組みを継続展開。 ○専門分野の興味・関心付けは今後の研究課題。		○おおむね昨年通りであるが、一部の項目で昨年度との差異（上がる場合、下がる場合ともに）が大きいものがある。 ○上がった項目は来年度も達成度の数値を落とすことなく努力して欲しい。	B
		学び直しと学習能力に応じた適切な指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.0 (3.0)	○昨年に引き続き、概ね目標達成できた。 ○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、主体的に学習に取組む態度を養っていく必要がある。 ○生徒の学習習慣が確立する取組みを継続実施。		○下がった項目については原因を分析し、来年度は元の数値に戻すようにして欲しい。 ○「基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価」に関しては、学校としてやるべき事の根幹である。もう一踏ん張り欲しい。	
	授業展開の工夫と他教科との連携の構築	適切な授業評価の実施と評価の効果的な活用	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.0 (2.8)	○昨年と比較し、0.8ポイント低下。 ○評価の場面や方法を工夫しながら指導の改善に繋げ、学習意欲の向上を目指す取組みを継続実施。 ○指導と評価の一体化に向け継続的な取組みが必要。		○授業評価及び研究授業については、あまり実施されていないように感じる。 ○ICT活用は、授業時数や進度との関係で、難しい面もあると思うが、実践を積み重ねることで、上達すると思う。	C
		教科の枠を超えた研究授業とより効果的な教授法・指導法の探究	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.0 (1.9)	○昨年と比較し、0.1ポイント改善。 ○学習基盤となる資質・能力育成の取組みを継続展開。 ○教育目標の実現に向け、教科等横断的な視点から関係機関等との連携を含めた研究推進が必要。		○生徒による評価アンケートで、「学習内容は進路希望等に応じた内容である。」の肯定率が80%、「教員はわかりやすい授業になるよう努力している。」が76%であり、生徒が学習指導について肯定的に受け止めていることがうかがえます。	
	ICT環境整備に基づくオンライン授業等の展開と充実	適切な学習指導の展開	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1 (3.1)	○昨年に引き続き、概ね目標達成できた ○正確な状況把握により、効果的な学習方法を選択的に確に実行(迅速な対応)		○また、教員による評価アンケートでも「適切な学習指導が展開されたか。」の肯定率が94.4%となっており、学習指導についての取組は、高く評価できます。	B
		ICTを活用したオンライン授業等の運用と展開	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.4 (1.2)	○昨年より1.2ポイント改善。 ○電子機器など教材・教具の適切な活用を推進。 ○オンライン授業改善点の洗い出しと運用技術向上などについては今後の課題		○一方、教職員による評価アンケートで、「適切な授業評価の実施と評価の効果的な活用がなされたか。」「教科の枠を超えた授業研究と教授法・指導法の探究がなされたか。」の肯定率が、いずれも16.7%でした。 ○一人一人の教員は授業づくりに工夫をしている一方、生徒からの授業評価の活用や、同僚教員との相互研修については、課題となっていることが見受けられます。 ○個に応じた学習指導が進んでいる。 ○授業研究会を実施し、授業力向上と意識改革を進めてほしい。 ○ICTの効果的な活用と工夫を進めてほしい。	
生 徒 指 導	基本的生活習慣の確立と規範意識・ルール・マナーの向上	校則の正しい理解と運用	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9 (2.9)	○昨年と評価に変化なし。 ○教育目標の実現の観点から教育的意義を共有し効果的な運用・継続的な取組みを継続実施。 ○時代の要請を踏まえ、校則の見直しを継続実施。		○おおむね昨年通りであり、問題ないと考える。 ○来年度以降も数値を落とすことなく引き続き、改善を続けていって欲しい。	A
		挨拶、言葉遣い、礼法、清掃活動の指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.0 (3.1)	○昨年と比較し0.1ポイント低下するも、概ね実践できた。 ○学校全体での取り組みが今後とも重要。 ○指導に当たって、具体的・系統的・継続的に進めていくことが大切。		○社会人としてのルールやマナーが徹底されている。 ○いじめ等についての対応が、迅速・丁寧・的確になされている。 ○時代や社会を反映した上での校則の見直しを進めてほしい。	
		規範意識と校外でのマナー向上の指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9 (3.1)	○昨年と比較し0.2ポイント低下するも、概ね実践できた。 ○学校と地域・家庭との効果的な連携が求められる。 ○様々な教育活動を通じ、基本的生活習慣を確実に身につけさせていく取組みを継続展開。		○生徒による評価アンケートで、「教員は、基本的生活習慣を身につけさせるよう指導している。」の肯定率が81%であり、生徒が生徒指導について肯定的に受け止めていることがうかがえます。	
		集団生活のマナーに関する指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1 (2.8)	○昨年と比較し、0.3ポイント改善。 ○地域社会との連携のもと、社会の一員としての自覚を身につけさせる取組みを継続実施。 ○学年・分掌を横断した組織的な取組みが重要。		○一方、「悩みや困ったことがある時、教育相談は適切に行われている」の肯定率は74%で、否定率も10%前後あり、心のケアが求められている状況がうかがえます。	
	問題行動への適切な対応と教職員の共通理解の徹底	特別指導への適切な対応と事後指導の徹底	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8 (2.8)	○昨年と変化なし。 ○実態把握を的確に行い、指導内容や指導方法の工夫について、組織的・計画的な取組みを継続実施。 ○家庭との連携・協力体制づくりが鍵となる。		○いじめ等についての対応が、迅速・丁寧・的確になされている。 ○時代や社会を反映した上での校則の見直しを進めてほしい。 ○生徒指導面については、保護者、生徒評価の数値を見る限りでは、2年生、1年生の評価が低いように感じる。特に男子生徒(一部だろが)の頭髮に関するものが多い。	A
		いじめの防止、早期発見、迅速対応、適切な措置の徹底	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.0 (3.0)	○昨年と同様、概ね達成できた。 ○集団指導・個別指導により、生徒理解に努める。 ○課題未然防止教育、課題早期発見対応に心掛け組織的・系統的な取組みを継続展開。		○教育相談や、各先生方が生徒の面倒をよく見ておられる様子が見てとれる。 ○教職員評価で、項目1・2の評価が低いことが気にかかる。	

進路指導	進路指導の早期取り組みと学年や希望に応じた適切な対応	年次指導による段階的・系統的な指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.0 (2.9)	○昨年と比較し、0.1ポイント改善。 ○計画的・組織的・継続的な指導を継続実施。 ○キャリア教育の視点を踏まえ、社会的・職業的自立に向けた進路指導を継続展開。	○概ね昨年通りの数値であるが、一部で下がった項目があるので、原因を分析し、その部分は改善をしていく必要がある。 ○先見のかつ計画的にキャリア教育がなされている。 ○進路指導に関する生徒評価は、いずれの設問についても80%を超える肯定率を示しており、保護者の自由記述も含めて、きめ細かな指導が行われている様子がうかがえます。 ○一方で、中学校や大学との連携活動や、ボランティア活動等の地域連携について、生徒の肯定評価は61%に留まっており、今後の課題として取り組む必要があると思います。 ○進路指導に関する保護者の意見は、総じて高評価であると感じる。(数値上で見る限り) ○ただし、現在の学校経営状況で、退学者または進路変更者の数字が知りたいと思った。 ○教職員評価で、企業や大学等との連携に関する評価が低いことが気にかかる(キャリア教育)	A
		企業や大学等との連携、保護者を交えた指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.4 (2.4)	○昨年と同様、更なる改善が求められる。 ○関係機関等との連携・交流を模索しつつ、その充実・強化を図ることが必要。 ○連携の強化・拡充に向けた取組みは検討課題。		
		個別面談、面接指導、論文指導、事後指導等、細やかな指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9 (3.4)	○昨年と比較し、0.5ポイント低下。 ○多様な進路先への支援に向け、可能な指導をそれぞれの分野で粘り強く実践。 ○個に応じた細やかな指導を継続実施。		
		大学・専門学校訪問やインターンシップ等適切な進路指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9 (3.2)	○昨年と比較し、0.3ポイント低下。 ○ガイダンス機能の充実による進路意識の醸成・向上を目指す。		
		キャリア教育に関する指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.6 (2.5)	○昨年と比較し0.1ポイント改善。 ○教育活動全体を通じ、キャリア発達を促すキャリア教育の充実に向けた取組みを継続実施。 ○家庭・保護者や地域との連携・協働体制が重要。		
特別活動	部活動の活性化と地域ボランティア活動・奉仕活動の推進	生徒への積極的な参加の呼びかけ	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9 (2.8)	○昨年と同様、概ね達成できたが更なる取り組みが必要。 ○地域貢献・社会参加に関する活動を継続実施。 ○生徒主体の活動・参加意欲ともに高い。 ○集団・体験的活動の充実に向け取組みを継続実施。	○どの項目も昨年度と比べて0から0.3ポイントの変動に収まっており、安定していると考える。 ○ここから数値を上げていくのは簡単ではないが、色々な点を少しずつ改善していくことにより、継続的に数値が上がるようにしていって欲しい。 ○生徒が校内校外を問わず、活躍できる場面が設定されている。 ○生徒による評価アンケートで、「学業と部活動の両立について積極的である。」の肯定評価が79%、「学校行事は充実している」の肯定評価が78%など、特別活動に対する生徒の評価は高いことがうかがえます。 ○生徒が、地域活動や部活動に対して、前向きに積極的に取り組んでいる姿には、好感が持てる。 ○指導される先生方も大変だとは思いますが、対外的に生徒が動いている姿を見せることが、学校にとっても、生徒の学校への誇りという点でも大切だと思う。	A
		指導計画や目標に基づいた指導と展開、向上を促す	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8 (2.7)	○昨年と比較し、0.1ポイント改善。 ○生徒の個性や能力の伸長、協力の精神などの育成に向けた取組みを継続実施。 ○生徒減、指導者確保などは今後の検討課題。		
		集団活動を通じて規律やマナーの習得を目指した指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7 (3.0)	○昨年と比較し、0.3ポイント低下。 ○生徒の自主的・実践的な態度の育成に努めるとともに望ましい集団生活の展開や望ましい集団の育成に向けた取組みを継続実施。		
	生徒主体の活動推進と協力体制の構築	生徒会を中心とする諸活動の企画・運営の充実	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7 (2.5)	○昨年と比較し、0.2ポイント改善。 ○活動制限の中、企画・運営の練り直しとともに新たな企画への挑戦など知恵を出し合い協力し、課題解決しようとする活動を展開。		B
		クラスや学年・科の枠を超えた活動と協力を図る	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.3 (2.3)	○昨年から変化なし。依然低い数値。 ○クラス移動が難しい中での活動の難しさに直面。 ○本校の特徴の一つである多様な学科・コースの特性を活かした取組みについては継続検討課題。		
		学校行事等の計画的な企画、運営、反省の実施	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7 (2.5)	○昨年と比較し、0.2ポイント改善。 ○主要な学校行事については、工夫しながら運営。学校行事の意義を踏まえた取組み継続展開。 ○コロナ解除後、本格実施に向け検討中。		
その他	広報・生徒募集活動の充実と働き方改革の促進	広報活動、生徒募集活動の計画的な企画・運営	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7 (2.7)	○昨年と比較し、変化なし。 ○HP、各種説明会、体験学習、CM等様々な場面での効果的な情報発信を継続展開。 ○教育活動の好循環に繋がる取組みを継続実施。	○昨年度はこの項目の数値が良くなかったが、今年度はかなり改善しており、努力の跡がうかがえる。 ○来年度も数値を落とすことがないよう、引き続き、改善の努力をしていて欲しい。 ○綱紀保持研修の定期的な実施を。 ○働き方改革にむけて業務の精選と意識の改革をすすめてほしい。 ○高校の授業料実質無償化の動きに合わせ、中学生の私学志向がこれまで以上に高まっているように感じます。 ○今年度導入された、奨学制度は大変インパクトのある取組でした。 ○貴校の魅力発信について、一層の活性化を期待します。 ○また今後、中学校の部活動が地域移行され、各競技、種目の競技経験のない中学生が入学することが予想されます。 ○地域や中学校とも連携して、各活動の魅力発信や、掘り起こしの取組も進めていただけたとよいと思います。	B
		教育活動全般を通じ、校訓の理念と精神への指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.5 (2.2)	○昨年と比較し、0.3ポイント改善。 ○様々な機会を活用し、建学の精神・校訓醸成に向けた取組みを強化・浸透に努める必要がある。 ○全校体制で意識共有を図った取組みを継続実施。		
		働き方改革、ハラスメント行為撲滅に係る取り組みはなされたか	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.2 (1.6)	○昨年と比較し0.6ポイント改善するも、依然として低い。 ○ハラスメント研修を含めた服務規律の確保に向けた取組みが必要。 ○働き方改革は継続重要課題の一つ。		
	ICT環境整備に基づく業務の簡素化及び合理化とコロナ禍への対応	校内ICT施設・設備の充実と改善	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.5 (2.4)	○昨年と比較し、0.1ポイント改善。 ○情報機器・環境整備体制の維持・更新が重要。 ○情報手段や情報環境の適切かつ効果的な活用に向けた取組みを継続実施。	○保護者の自由記述からは、魅力ある先生方が貴校に在籍されていることもうかがえます。 ○働きやすい環境づくりや業務改善により、先生方のウェルビーイングにも努めていただきますようお願い致します。 ○どの項目も少しずつ改善されている。しかしながら、評価数値としては、全体的に低い。 ○一人一人の教職員が職場環境に対して、積極的に改善意識を持ち誇りに思える学校づくりをするという強い決意を持たれることを期待する。 ○教職員の評価が低いことが気にかかる。	B
		校内での適切な健康・衛生管理	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7 (2.5)	○昨年と比較し0.2ポイント改善。 ○安心・健康管理維持は重要課題 ○引き続き迅速で適切な対応、効果的な対策を講じていく必要がある。		
		校務運営の積極的な改善	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.2 (1.7)	○昨年と比較し0.5ポイント改善するも、依然として低い。 ○状況変化する中で、改善への取組みを継続実施。 ○課題の集約と対策は今後の重要課題。		

令和7年度 誠英高等学校 学校評価書【通信制課程】

令和8年5月1日

1. 教育目標	
校訓	至誠一貫 規律厳守 協同一致
教育方針	本校は人物養成に重きをおき、建学の精神「至誠一貫」を現在に生かし、感謝と奉仕の精神を培い、道徳的実践力を高めるよう努めます。 教職員は私学教員として自覚を深め、資質の向上に努め、親切に生徒を指導し、生徒一人ひとりの個性の伸長と人格の完成を目指します。
教育目標	○個性の伸長と豊かな人間性を育む教育の推進 ○学校・家庭・地域社会との連携の充実
スクールポリシー	
グラジュエーションポリシー	・社会で生き抜く力の養成 ・生徒一人ひとりの個性に合った教育 ・誠の心を備えた人間力の育成
カリキュラム・ポリシー	・自学自習を基本とした主体的な学び ・個に応じたきめ細やかな教育 ・個に応じた進学・就職の進路指導
アドミッション・ポリシー	・自ら学び、成長する意欲を持つ人 ・進学、就職どちらも視野に入れ、自分の能力を活かした進路を望む人

2. 自己評価							
評価領域	重点目標	具体的方策(実践活動)	評価基準	達成度	達成状況の診断・分析	学校評価関係者	評価
学習指導	基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価	通信制課程の特性に応じた学習指導が展開されたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○通信制課程の特性に応じた学習指導が達成できた。 ○今後も、生徒一人ひとりの特性を踏まえ、基礎的学力・技能の修得に努める。	○「基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価」に関しては、学校としてやるべきことの根幹である。次年度も引き続き、力を注いでいきたい。	A
		学び直しと学習能力に応じた適切な指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○学習習慣の確立と主体的に学ぶ力を育む指導を継続する。	○「通信制課程の特性に応じた学習指導が展開されたか。」や、「学び直しと学習能力に応じた適切な指導がなされたか。」のアンケートに対して教員の肯定率が高く、学習指導での取り組みは高く評価できる。	
	授業展開の工夫と他教科との連携の構築	適切な授業評価の実施と評価の効果的な活用がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.3	○評価方法を工夫しつつ指導の改善につなげ、生徒の学習意欲の向上を目指す取り組みを継続して実施する。		B
		教科の枠を超えた授業研究と教授法・指導法の探究がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	1.1	○教科ごとの実践を共有しながら、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、通信制に適した授業方法の工夫を図った。	○「教科の枠を超えた授業研究と教授法・指導法の探究がなされたか。」については、通信制課程特有の学習方法があるため難しい面もあると思うが、他教科との連携も視野に入れ、教科や分掌を超えて情報共有を行い、生徒の実態に応じた指導方法や授業改善について検討していただきたい。	
		適切な学習指導が展開されたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○生徒の理解度に合わせた支援を意識し、添削指導や面談指導を通して学習意欲の向上に努めた。今後も効果的な学習方法の探究を深めてゆく。		C
	ICT環境整備に基づくオンライン授業等の展開と充実	ICTを活用したオンライン授業等の運用と展開はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	1.7	○通信制の特性から、ICTを活用した授業実践は主に総合探究に取り入れている。		
生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識・ルール・マナーの向上	規則の正しい理解と運用がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○校内規則について教職員間で共通理解を図り、生徒にも周知徹底を行ったことで、適切な運用がなされた。	○「基本的生活習慣の確立と規範意識・ルール・マナーの向上」について、生徒の基本的生活習慣の確立に向けた継続的な指導が行われており、規範意識やルール・マナーの向上についても、日常的な声掛けや丁寧な対応を行い、適切に取り組まれている。	A
		挨拶、言葉遣い、礼法、清掃活動の指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.3	○学校生活全体を通し継続的に指導を行い、基本的生活習慣の定着や公共心の育成、周囲への配慮ができるよう意識の向上を図った。		
		規範意識と校外でのマナー向上の指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.9	○ホームルーム指導や日常指導を通して礼儀やマナーについて指導し、生徒が落ち着いた学校生活を送れるよう支援した。	○いじめ等、生徒の問題行動に対する特別指導について、迅速、丁寧、的確になされており、日頃の教員の尽力が伺える。	A
	問題行動への適切な対応と教職員の共通理解の徹底	特別指導への適切な対応と事後指導の徹底はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○実態把握を的確に行い、指導内容や指導方法について組織的な取り組みを継続して実施する。	○評価数の高さから、教育相談や各先生方が生徒の面倒をよくみておられる様子がわかる。	
		いじめの防止、早期発見、迅速対応、適切な措置の徹底はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	4.4	○日常的な観察や教育相談を通して、生徒理解に努め、いじめの未然防止と早期発見に向け、適切な措置の徹底に努めた。 ○保護者との連携を密にしながら、組織的かつ継続的な対応を行った。		
		集団行動のマナーに関する指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.9	○学習活動の中で互いを尊重しつつ自律的に行動できるよう指導を行った。今後も集団行動の在り方を意識させ、社会性の育成を図ることを継続してゆく。		

評価領域	重点目標	具体的方策(実践活動)	評価基準	達成度	達成状況の診断・分析	学校評価関係者	評価
進路指導	進路指導の早期取り組みと学年や希望に応じた適切な対応	年次指導による段階的・系統的な指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	4.4	○計画的、組織的な指導を継続して実施している。 ○キャリア教育の視点を踏まえた進路指導を目指す。	○通信制課程の特性があるため、実際の運用に課題はあるが、教職員評価で企業や大学等との連携に関する評価が低いことが気にかかる。そのなかでも外部機関と協力体制をとりながら、保護者・生徒と情報を提供・共有し、面談等、丁寧な進路指導を行っている様子が伺える。 ○通信制、全日制の区別なく、全ての生徒に合った進路指導を行っている。情報共有を密にするなど、相互協力が必要だ。	B
		企業や大学等との連携、保護者を交えた指導はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○外部機関との連携を通して、実社会と結びついた学びを提供するとともに、保護者を交えた面談や説明を通じて共通理解を図った。		
		個人面談、面接・論文指導、事後指導等、細やかな指導はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.9	○多様な進路先への支援に向け、可能な指導をそれぞれの分野で粘り強く実施した。		
		大学・専門学校訪問やインターシップ・応募前職場見学等、適切な進路指導はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.9	○生徒の希望や適性に応じた適切な進路指導を行った。 ○保護者を交えた就職説明会を行い、進路決定の流れを周知し、理解、協力を仰いだ。		
		キャリア教育に関する指導はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○進路学習や面談等を通じて、生徒一人一人の適性や希望に応じたキャリア形成の支援を行った。		
特別活動	部活動の活性化と地域ボランティア活動・奉仕活動の推進	生徒への積極的な参加を呼び掛けることができたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○特別活動の一環として校内清掃を実施、多くの生徒が主体的かつ意欲的に取り組んだ。	○通信制課程の特性を踏まえ、計画的に特別活動の時間を設け、適切に実施している。 ○「集団活動を通じて規律やマナーの習得を目指した指導がなされたか。」に関しては、通信制独自の学習形態があるため徹底した取り組みは難しいかと思われる。しかし、限られた機会の中で学校生活や特別活動を通して、規律やマナーの習得に向けた丁寧な指導が行われていると思う。	A
		計画内容や目標に基づいた指導と、向上を促すことができたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	4.4	○計画内容や目標に基づく指導を行い生徒の主体的な参加を促した。 ○公共心や協働の精神を育む活動の充実に向け継続して実施する。		
		集団活動を通じて規律やマナーの習得を目指した指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○生徒の自主的・実践的な態度の育成に努めるとともに、望ましい集団生活の展開や集団の育成に向けた取り組みを継続して実施したい。		
	生徒主体の活動推進と協力体制の構築	学年の枠を超えた活動と協力はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.3	○通信制の特性を踏まえ、生徒主体の活動を尊重しながら、限られた機会の中で協力して取り組む場面づくりに努めた。		B
		学校行事等の計画的な企画・運営・反省はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	4.4	○計画的に企画・運営を行い、実施後は反省を通して改善点を共有し、今後の活動に生かすよう努めた。		
その他の活動	広報・生徒募集活動の充実と働き方改革の促進	広報活動、生徒募集活動の計画的な企画・運営はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	4.4	○年間計画に基づき計画的に企画・運営を行い、学校の教育内容や特色が適切に伝わるよう努めた。在籍生徒の近況報告もできた。	○働き方改革に向けて業務の精選と意識改革を進めてほしい。 ○積極的に改善意識を持ち、誇りに思える学校づくりをするという強い決意を持たれることを期待する。 ○中学生や保護者にとって通信制高校の需要が高まっているように感じる。広報活動に関して、周辺高校を重点的に行なうことはもちろんだが、中学校への訪問も積極的に行ない、保護者・生徒への周知に力を入れ取り組んでほしい。	A
		教育活動全般を通じ、校訓の理念と精神の指導がなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○今後もあらゆる機会を活用し建学の精神・校訓醸成に向けた取り組みを強化・浸透に努める必要がある。		
		働き方改革、ハラスメント行為撲滅に係る取り組みはなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.9	○ハラスメント研修を含めた含む起立の確保に向けた取り組みが必要である。		
	ICT環境整備に基づく業務の簡素化及び合理化対応	校内ICT施設・設備の充実と改善はなされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.2	○生徒数増加を受け、情報機器や環境整備体制の維持・更新が目下の課題である。		B
		学校行事予定、緊急連絡、健康管理等、保護者・外部への対応が適切になされたか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	5.0	○毎月「誠英だより」発行し郵送、またクラスルームを通じて密に連絡をとりつつ連携体制を構築した。		
		校務運営の見直しを心がけ、積極的に改善を図ったか。	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.9	○業務内容を見直しデジタル化を進め、業務の効率化・円滑化に努めた。 ○次年度につながる改善点を整理・共有した。		